

奈良県西和医療センター  
地域医療構想における  
具体的対応方針

令和3年11月作成

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当センターは、西和地域（西和7町および香芝市、広陵町の一部を含む）の基幹病院として発展してきました。さらに、地域医療支援病院として紹介患者に対する医療や特に救急医療に力を入れてきました（西和二次医療圏内では救急搬送受け入れ件数が最も多い）。新型コロナ感染禍においては、いち早く新型コロナ感染患者の受け入れを開始するなど、公立病院としての役割を果たしてきました。今後は、特に重症急性期を担う基幹病院としての役割を基本に①救急機能（二次救急、小児救急）の更なる強化②地域医療支援病院として地域の重症急性期患者への最適な医療の提供③地域で必要とされる医療の提供さらに大規模災害時や感染症パンデミック時に二次医療圏の中心的役割を果たす病院づくりを目指します。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

当センターは西和地域において地域の医療機関と西和メディケアフォーラムを通じて役割分担と連携を進めてきました。特に、新型コロナウイルス感染症パンデミックの時期に、病院間連携が進化し、役割分担が明確になってきています。今後も前述（1）を基本に更なる医療機関間の連携を進めて参ります。さらに、在宅療養後方支援病院として地域の在宅医療を担当する医療機関や地域包括支援センターとの連携を強化して、地域包括ケアを支援して参ります。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

西和7町における医療と介護の連携を円滑に進めるための枠組みである「西和メディケアフォーラム」をより発展させ、合同会議の他、部会（7町の地域包括支援センターによるマネジメント部会、看護部会、薬剤部会、セラピスト部会のほか、病院間連携のための7町の6病院による地域連携室部会）における議論や、医療と介護の連携で問題となる事例を具体的に検討する地域事例検討会での活動を支援して、地域における医療と介護の連携を推進してゆく方針です。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

## 2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

### (1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

		<H28年度>		<R3年度>		最大使用病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
		(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数			
一般 病床 ・ 療養 病床	高度急性期		4	10		10	8	4
	急性期	重症	296	290		290	292	-4
		軽症						0
	回復期							0
	慢性期							0
	休棟中 (今後再開する予定)							0
	休棟中 (今後廃止する予定)							0
	(合計)		300	300		300	300	0
精神病床							0	
介護医療院							0	

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

## (2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

### ① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい ・ いいえ
- ・手術の実施 肺、呼吸器 ・ 消化器 ・ 乳腺 ・ 泌尿器、生殖器
- ・化学療法の実施 対応している ・ 対応していない
- ・放射線治療の実施 対応している ・ 対応していない
- ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 奈良県地域がん診療連携支援病院（申請中）の役割を果たし、地域がん診療連携拠点病院（県総合医療センター等）と連携を図りながら、専門的ながん医療を提供する機能の充実を図ります。
- 2) 外科的治療と化学療法等（および連携による放射線療法）によるがんの集学的治療を進めるとともに、腫瘍内科を中心としたチームが原発不明がん等の地域で診断困難ながん診断や、がん緩和ケア医療の提供を強化します。
- 3) がん患者・家族への相談支援、法律に基づく院内がん登録等を行います。
- 4) 引き続き、肺がん、乳がんの手術適応症例は、奈良県総合医療センター等に紹介、婦人科がんについても奈良県総合医療センターとの連携のなかで、婦人科腫瘍外来の設置などに取り組みます。
- 5) 放射線治療が必要な症例については、奈良県総合医療センターなどの治療装置が整備された施設と連携してがんの集学的治療を円滑に行います。

### ② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい ・ いいえ
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している ・ 対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している ・ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 脳卒中循環器病基本法の施行に伴い、今後策定される県の循環器病対策推進計画に沿った医療を行います。心筋梗塞等急性冠症候群に対する救急医療については、従来の通り、24時間365日の緊急カテーテル治療に対応できる体制を継続します。
- 2) 循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科等の手術に対応できる血管造影装置を備えるハイブリッド手術室を整備し、高度な循環器疾患の手術を安全に施行できる体制を構築します。
- 3) 集中治療科に集中治療専門医を配置し、循環器内科専門医および心臓血管外科専門医を協働することによりICUでの循環器集中治療体制をさらに強化します。また、従来からの人工呼吸やECMOを含めた全身管理に対応できる集中治療室体制を維持します。

### ③ 脳卒中

- ・ 当該領域について対応しているか？ (はい) ・ いいえ
- ・ 脳卒中に対する t-PA による脳血栓溶解療法の実施 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 脳動脈クリッピング術 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 開頭血腫除去術 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 血栓除去術等の脳血管内手術 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している ・ (参加していない)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 脳卒中循環器病基本法の施行に伴い、今後、策定される県の循環器病対策推進計画に沿った医療を行います。
- 2) 脳卒中治療の基幹施設としての包括的脳卒中センターに対し、西和医療センターでは、特に発症から治療開始までに時間的猶予のない疾患に対応する一次脳卒中センター（t-PA 投与、血栓吸引など実施）の役割を担います。
- 3) 心臓血管外科、脳神経外科、循環器内科等の手術に対応できる血管造影装置を備えるハイブリッド手術室を整備します。
- 4) 集中治療科に集中治療専門医を配置し、脳神経外科および脳神経内科の医師と協働することにより、重症脳卒中に対応できる集中治療管理体制を強化します。
- 5) 脳神経外科・脳神経内科の常勤医を増員することにより、特に休日・夜間の脳卒中診療体制を強化します。

### ④ 救急医療

- ・ 当該領域について対応しているか？ (はい) ・ いいえ
- ・ 救急告示病院の指定を受けているか？ (はい) ・ いいえ
- ・ 大腿骨骨折への対応 (対応している) ・ 対応していない
- ・ 病院群輪番制への参加 (参加している) ・ 参加していない
- ・ 小児科病院二次輪番体制への参加 (参加している) ・ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 救急機能を強化し、西和医療圏内で発生する二次救急搬送に対する応需率を高めます。（目標：年間 3000 件を応需）。
- 2) 同時に複数の救急搬送患者の受け入れが可能となるよう、救急処置室を拡充します。救急科、総合診療科の専門医を複数確保するとともに、院内各科の専門医との連携体制を強化します。
- 3) 二次救急病院として、特に、心筋梗塞、脳卒中、消化器・腹部疾患についての応需率を高めます。

## ⑤ リハビリ

- |                    |               |    |                |
|--------------------|---------------|----|----------------|
| ・当該領域について対応しているか？  | <u>はい</u>     | ・  | いいえ            |
| ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  | <u>対応している</u> | ・  | 対応していない        |
| ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 | 有り（病床数＝       | 床） | ・ <u>無し</u>    |
| ・訪問リハビリの実施         | 対応している        | ・  | <u>対応していない</u> |
| ・通所リハビリの実施         | 対応している        | ・  | <u>対応していない</u> |

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) リハビリテーションには、大きく、急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション、生活期リハビリテーションがあり、当センターは急性期リハビリテーションを担います。早期からのリハビリテーションにより廃用症候群を予防し、機能回復の促進により入院期間を短縮し、より高い機能で社会復帰できるよう支援を行います。
- 2) 脳血管疾患リハビリテーションだけでなく、心臓大血管リハビリテーションに加えて、慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器リハビリテーションの充実を図り、心肺機能障害患者に対するリハビリテーションによる機能回復を目指す体制を構築します。
- 3) がん緩和医療とともに、がん患者リハビリテーションの充実を図ります。
- 4) 一方、地域の医療機関と連携できる回復期リハビリテーション、生活期リハビリテーションは当センターでは行わず、近隣の回復期リハビリテーション病院等と連携を進め、役割分担を明確にします。

## ⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- |                   |           |   |                |
|-------------------|-----------|---|----------------|
| ・当該領域について対応しているか？ | <u>はい</u> | ・ | いいえ            |
| ・在宅療養支援病院の届出の有無   | 有り        | ・ | <u>無し</u>      |
| ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 | <u>有り</u> | ・ | 無し             |
| ・訪問リハビリの実施（再掲）    | 対応している    | ・ | <u>対応していない</u> |

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 西和7町における医療・介護を推進するため、地域の地域包括支援センターと連携して地域の医師・訪問看護師・社会福祉士・ケアマネージャー等の多職種からなる「西和メディケアフォーラム（地域検討会合同会議）」での意見集約を経て、地域の訪問診療、訪問看護、介護ケアの取り組みに対して、当院の在宅医療後方支援病院としての役割を更に充実させて参ります。
- 2) 入院患者が安心して自宅等に戻れるよう、在宅療養支援室と地域の在宅療養支援チームと連携して退院支援を充実します。
- 3) 西和7町で作成された入退院連携マニュアルの評価・改正を行いながら医療・介護連携の強化を進めます。

## ⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい ・  いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい ・  いいえ

(はいの場合 施設名称： )

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 当センターに所属する皮膚排泄ケア認定看護師、糖尿病看護認定看護師、感染管理認定看護師等の認定看護師および従来医師のみに限定されていた処置が可能となる特定行為の研修を修了した看護師が地域のケアマネージャーや訪問看護ステーションと協働することによって、地域における在宅療養支援体制を充実させます。
- 2) 母子保健事業（市町村の新生児訪問事業等の地域活動）に当院所属の助産師を参画させ、地域の母子保健事業を支援します。

## ⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

定めている ・  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当センターでは看取りを目的とした入院診療を行うことがほとんどない実態ではありますが、地域の医療と介護が連携して患者の人生の最終段階での意思決定を支援するという観点で、急性期医療から回復期、慢性期の医療や在宅介護に至るまでの連続性と一体性を考慮して、今後「適切な意思決定支援に関する指針」を地域の医療機関やケアマネージャー、訪問看護ステーション等と連携をとりながら、地域で整備・活用してゆく体制を構築します。

## ⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい ・  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している ・  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している ・  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している ・  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 小児医療は、地域で必要とされる医療であるため、当センターは西和医療圏における小児医療の拠点としての機能を継続し、さらに小児科医を増員して発展させます。また、在宅小児医療のレスパイト入院について、ニーズの把握を行った上で導入を検討します。
- 2) また、二次輪番担当病院として積極的に救急診療体制を充実させます。一方、現在の中南和医療圏を担当する体制については、患者の移動の負担を考え、対象地域の枠組みについての検討が必要と認識しています。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい ・  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している ・  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している ・  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 産科診療については、令和元年8月から分娩を奈良県総合医療センターと連携して行うことにしましたので、当センターでは分娩を行いませんが、妊婦健診・産後ケアは引き続き西和医療センターの産婦人科で行います。
- 2) ハイリスク分娩管理については、奈良県総合医療センターのNICU（新生児集中治療室）、GCU（新生児回復治療室）に集約します。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい ・  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい ・  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい ・  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している ・  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 1) 現在協議中の新病院は、十分な耐震性能を有する施設とします。
- 2) 移転候補地である王寺町は、大和川浸水想定区域図（ハザードマップ）では、2m～5mの浸水想定区域であることから、これを想定した建物計画が必要です。
- 3) 具体的には、主要な病院機能を2階以上に配置することや、電気設備等の重要施設を高層階に設置することなどを検討します。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい ・  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい ・  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当センターはへき地医療の機能を有しておりませんが、へき地医療拠点病院への研修医派遣という形で、へき地医療に貢献します。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい ・  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい ・  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

医師臨床研修については、基幹型臨床研修病院として、今後も医師教育体制を発展させます。所属研修医数は現状の20名体制を基本に、地域の医療機関を含む県内の臨床研修協力医療機関への派遣を継続します。



⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい ・  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  
 はい ・  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい ・  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい ・  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい ・  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい ・  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい ・  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、県および地域自治体と協議中の新病院構想においては、新興感染症に対応する医療を迅速にかつ適切に提供するため、2病棟（90床程度）を陰圧化可能な新興感染症対応病床とする計画です。その他、集中治療室にも感染症対応病床を計画します。将来の新興感染症パンデミック時には、県内でいち早く対応でき、かつ多くの患者を受け入れることができる感染症診療体制を目指します。